

## 「新・温度対応」でヨコハマ・SUVスタッドレスタイヤ史上最高の氷上性能を達成※<sup>1</sup> SUV用スタッドレスタイヤ「GEOLANDAR I/T-S」新発売

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、SUV用スタッドレスタイヤ「GEOLANDAR I/T-S（ジオランダー・アイティーエス）」を9月から順次発売する。発売サイズは175/80R15 90Q～235/55R19 101Qの全22サイズで価格はオープンプライス。

「GEOLANDAR I/T-S」は氷上性能を飛躍的に向上させた「GEOLANDAR」シリーズの新スタッドレスタイヤ。新世代のタイヤとして一層進化するため、乗用車用スタッドレスタイヤ「アイスガード・トリプル（iG30）」で開発した「新・温度対応」技術を土台に、「ヨコハマ・SUVスタッドレスタイヤ史上最高の氷上性能※<sup>1</sup>」「クールデザイン」「環境性能」の3つをコンセプトとして開発した。氷上性能の強化では「新・温度対応」コンパウンドを採用。さらにトレッドパターンも一新し、「アイスガード・トリプル」の技術や「GEOLANDAR I/T-S」独自の新技术である「3-Dパワーベルトリブ」「3-Dツイストグループ」などを取り入れた。これにより、アイスバーンでの制動距離を約30%※<sup>2</sup>短縮するとともに、圧雪、シャーベット、ウェット、ドライなどあらゆる冬路面での走行性能も向上させた。デザインでは、鋭利で力強い外観を追求し、特にセンター部分に施した稲妻形の斬新なリブデザインは、かつてない迫力と存在感をアピールする。環境にも配慮し、ころがり抵抗を従来比で約5%※<sup>3</sup>低減するなど環境機能評価の自社基準を満たし、SUV用スタッドレスタイヤ初の環境貢献商品（エコモーション・プロダクト）となっている。

※<sup>1</sup> 横浜ゴムのSUV用スタッドレスタイヤ（GEOLANDAR I/T G071、GEOLANDAR I/T+ G071、GEOLANDAR I/T G072）との対比です ※<sup>2</sup>・<sup>3</sup> 詳細はP3性能比較テスト参照

「GEOLANDAR」シリーズは「地球上のあらゆる道や大地を自在に走る」というコンセプトの下に開発されたSUV用タイヤブランド。「GEOLANDAR I/T-S」のほかに、様々な道路に対応する「GEOLANDAR A/T-S」やロングツーリングでの優れたコンフォート性を実現した「GEOLANDAR H/T-S」、オフロード性能を高めた「GEOLANDAR M/T+」をラインアップしている。



横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ  
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.  
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570

## 「GEOLANDAR I/T-S」の主な特長

- (1) ヨコハマ・SUV用スタッドレスタイヤ史上最高の氷上性能を達成<sup>※1</sup>
- (2) 鋭利で力強く、SUVユーザーを惹きつけるクールデザイン
- (3) 環境に配慮した設計

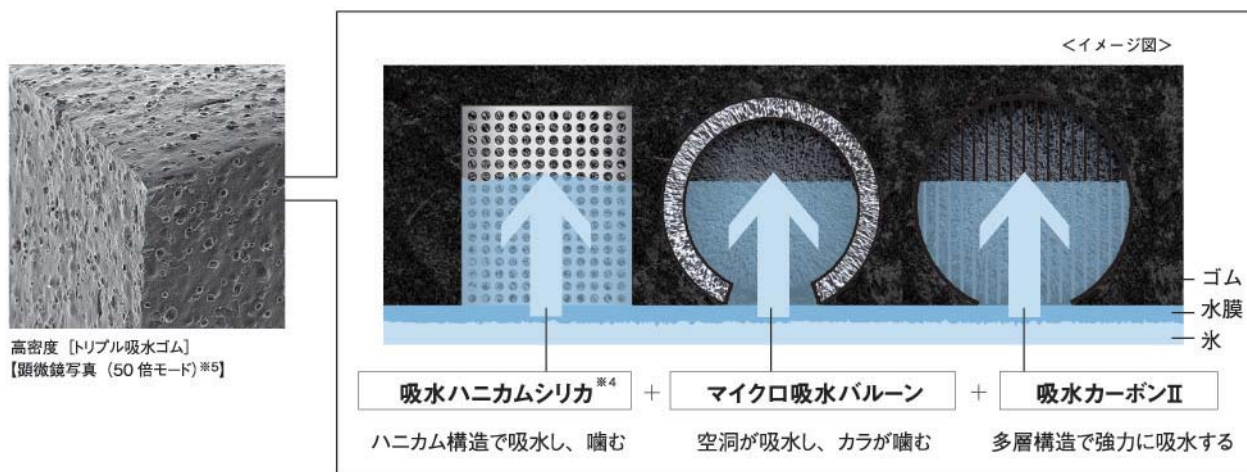
## さまざまな冬路面に対応する新・温度対応の高密度「トリプル吸水ゴム」

### ■「新・温度対応」のコンセプト



### ■高密度「トリプル吸水ゴム」

「第3の吸水素材」である吸水ハニカムシリカ<sup>※4</sup>、小粒子化して増量したマイクロ吸水バルーン、そして定評の吸水カーボンII。これら的高密度トリプル配合で、氷上性能が大きく進化した。また、高密度ゴム補強構造とブラックポリマーの採用で、アイスバーンでの性能はもちろんドライやウェットにも強いゴム特性を生み出す。



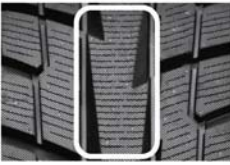
+

高密度ゴム補強構造+ブラックポリマー

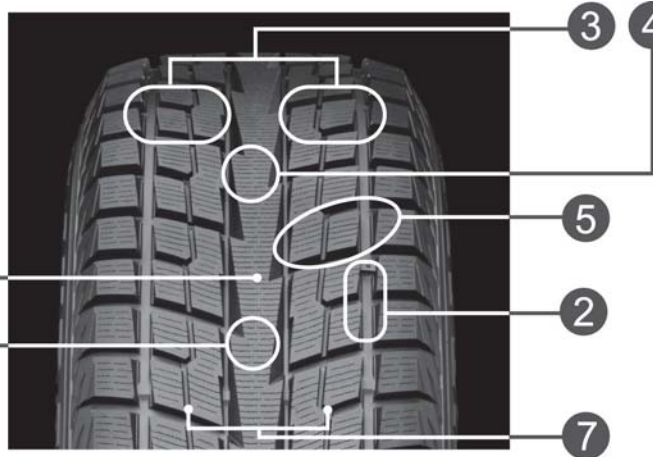
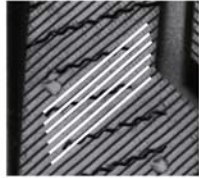
※4 吸水ハニカムシリカは、吸水性を有するハニカム形状をしたシリカ質の素材です。ゴム補強に使用するシリカとは異なり、その代替素材ではありません。トリプル吸水ゴムは、ゴム補強用のシリカも使用しています。※5 写真は一例であり、形状や密度が異なる場合があります。

## 優れた氷上性能とクールデザインを両立したトレッドパターン

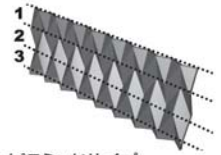
3-D パワーベルトリブ



細密マイクログループ



③ トリプルピラミッドサイズ  
(ショルダー・セカンドブロック部分)



④ ピラミッドサイズ  
(センターリブ部分)



### 1 3-D パワーベルトリブ (I/T-S 専用新技術)

極太のリブ形状の採用によって接地面積を拡大、サイブも増量し、アイスバーンでの優れた凝着力やエッジ効果を発揮する。また、テーパ形状の溝壁面がリブの高剛性を確保し、ドライでの優れた操縦安定性やしっかり感を実現している。負荷や熱を分散し偏摩耗を抑制するため、グループイングループを採用。スノーやシャーベットで優れたトラクションを発揮するため、ジグザグ形状のトレッド面デザインを施してエッジ効果にも貢献する。

### 2 3-D ツイストグループ (I/T-S 専用新技術)

テーパ形状にデザインした溝壁面が横方向の負荷に対してブロックを支え、ドライコーナリング時のしっかり感を実現。また、ブロックの上部をジグザグ、溝底面をストレート形状にすることで、エッジ効果と排水・排雪性を両立し、スノー、シャーベットでの優れた接地とエッジ力を発揮する。

### 3 トリプルピラミッドサイズ (iG30 技術)

#### 4 ピラミッドサイズ

ブロック剛性、エッジ効果に優れた2種類のピラミッドサイズを採用。最適な配置でトレッド全体のブロック剛性を均一化することで、アイスバーンでの優れた接地性やドライでのしっかり感を生む。

### 5 新シャーベットグループ (iG30 技術)

センターからショルダー部まで緩やかな曲線を描きながら幅の広がるグループを採用することで、雪や水の排出を促進する。また、排水性も向上するため、耐ハイドロ性能にも貢献する。

### 6 細密マイクログループ

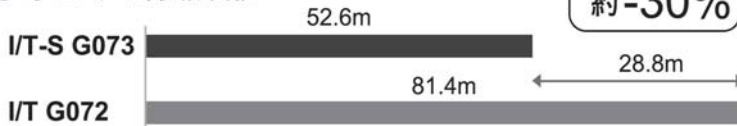
トレッド全面に細かいスリットを斜めに配置し、装着初期の氷上性能を確保。各方向へのマイクロエッジ効果を発揮する。  
※ヨコハマ SUV スタッドレスタイヤに初採用

### 7 ベルトブロック

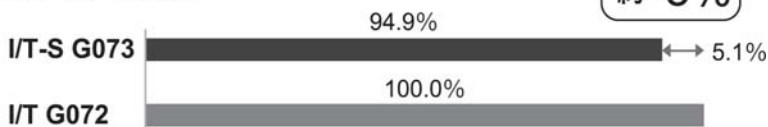
トレッドセンター部の縦方向に大型化したベルト状ブロックを配置し、制動時の接地性を向上。さらに、アイス、ドライ、ウェット時の操縦安定性や制動性にも貢献。

## 従来品との性能比較テスト

### ● 氷上での制動距離



### ● ころがり抵抗



氷上制動 I/T: 81.4m (100) / I/T-S: 52.6m (135) <試験条件>テスト日程 / 2009年1月22日、テスト場所 / 横浜ゴム T-MARY 氷上制動試験路、路面状況 / 氷上、天候 / 晴天、気温 / -1.2~-1.8℃、水温 / -2.6℃、制動速度 / 40km/h、制動方式 / ABS制動、タイヤサイズ / I/T: 225/65R17 101Q / I/T-S: 225/65R17 102Q、リムサイズ / 17×7JJ、空気圧 / 200kPa、車両 / トヨタ RAV4、乗車人数 / 1名 <試験方法> 制動距離を各々5回計測し、最大、最小を除いた3回の平均値を算出。※記載した数値は車両の性能、気温、路面状況等により変わり、普遍的なものではありません。よって異なる条件下の数値とは比較できませんのでご了承ください。※テストに関する詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

従来品 (I/T) : 104.4 / GEOLANDAR I/T-S : 99.1 <試験方法> 当社ドラム抵抗試験機によるころがり抵抗係数 (RRC) を測定。<試験条件> タイヤサイズ / I/T: 225/65R17 101Q / I/T-S: 225/65R17 102Q、リムサイズ / 17×6.5JJ、空気圧 / 200kPa、負荷荷重 / 5.5kN ※記載した数値は、社内で設定した条件における結果で算出したものです。実際の走行では走行コース、走行条件、車両、気温、路面状況等により変わるため、普遍的なものではありません。よって、異なる条件下の数値とは比較できませんので、ご了承ください。※テストに関する詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

## 発売サイズ

インチ	扁平率 (%)	タイヤサイズ	発売予定月
19	55	235/55R19 101Q	2009年9月
18	55	225/55R18 98Q	2009年10月
		★ 255/55R18 109Q	2009年9月
	60	225/60R18 100Q	2009年9月
		285/60R18 116Q	2009年9月
	65	235/65R18 106Q	2009年9月
17	65	225/65R17 102Q	2009年9月
		★ 235/65R17 108Q	2009年9月
		265/65R17 112Q	2009年9月
16	65	215/65R16 98Q	2009年9月
	70	215/70R16 100Q	2009年9月
		245/70R16 107Q	2009年9月
		265/70R16 112Q	2009年9月
		275/70R16 114Q	2009年9月
	80	175/80R16 91Q	2009年9月
15	70	205/70R15 96Q	2009年9月
		215/70R15 98Q	2009年9月
		265/70R15 112Q	2009年9月
	80	175/80R15 90Q	2009年9月
		195/80R15 96Q	2009年9月
		215/80R15 102Q	2009年10月
		225/80R15 105Q	2009年9月

印はエクストラロードタイヤ

ETRTOスタンダードタイヤよりも空気圧と負荷能力を高く設定したのがETRTOエクストラロードタイヤです。ETRTOスタンダードタイヤでは最大負荷能力の空気圧は250kPaですが、ETRTOエクストラロードタイヤでは290kPaになり、高い空気圧によって負荷できる荷重が高くなっています。重いクルマを支えるためにはタイヤ内部の容積を大きくする必要がありますが、ETRTOエクストラロードタイヤにすれば、同じでもより重いクルマを支えることができるのです。

エクストラロードタイヤとレインフォースドタイヤは同じ意味です。

ご掲載時の読者のお問い合わせ先  
 タイヤお客様相談室  
 TEL : 0120-667-520 (フリーダイヤル)

このリリースに関するお問い合わせ先  
 横浜ゴム (株) 広報部  
 TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570